

## 2023年度事業報告書

自 2023年 4月 1日  
至 2024年 3月31日

# 目次

<b>1. 概況報告</b> .....	1
<b>2. 定時総会、理事会の開催に関する事業</b> .....	1
1) 2023年度定時総会の開催 .....	1
2) 理事会の開催 .....	1
<b>3. 委員会の開催に関する事業</b> .....	2
1) JAPAN PACK 2023 実行委員会 .....	2
2) 包装学校企画運営委員会 .....	5
3) 広報推進委員会 .....	6
4) ISO/TC313国内審議委員会 .....	8
5) 技術委員会 .....	9
6) I o T W G .....	10
<b>4. 会員等諸会合の開催</b> .....	12
1) 新年賀詞交歓会 .....	12
2) 歳末特別講演会 .....	13
3) 支部会の開催 .....	13
<b>5. 調査、各種情報事業等に関する事業</b> .....	13
1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査 .....	14
2) 技術情報の収集・提供等 .....	14
3) 各種情報の発信等 .....	14
<b>6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業</b> .....	14
1) 包装学校事業 .....	14
2) 青年部会 .....	15
3) 各種セミナー・講習会 .....	16
<b>7. 国の施策に関する事業</b> .....	17
1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業 .....	17
<b>8. その他関連事業</b> .....	17
1) 包装機械会館の運営に関する事業 .....	17
2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業 .....	17
3) 福利厚生に関する事業 .....	17
4) 関連産業との連携 .....	17
<b>9. 会員の現況</b> .....	17
1) 入会 .....	17
2) 退会 .....	18
3) 会員登録の変更（カッコ内は旧登録名） .....	18

## 1. 概況報告

わが国包装機械産業の2022年度の生産実績は4,207億円で、対前年度比1.4%減となった。一方、2023年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、経済活動も本格回復が期待されたが、物価高の影響もあり、内需は弱く、本格的な回復までは至らなかった。貿易統計(財務省)によれば、輸出高は10.7%減(1-12月確報)と大幅な減少となっている、国内の設備投資は回復基調となっており、機械統計(経済産業省)は暦年ベースで3.3%増(1-12月速報)。生産高は前年度を上回る見込みとなっている。

本年度は、事業計画に基づき、展示会の開催をはじめ、各種会員サービスの向上、ならびに安定的な運営基盤の構築、業界の発展と工業会の体制強化に努めた。

## 2. 定時総会、理事会の開催に関する事業

### 1) 2023年度定時総会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、2022年度事業報告書ならびに2022年度決算報告書の審議・承認、2023年度事業計画の報告を行った。また本年は総会の終結を以って退任する理事ならびに監事の補充のため、議案が提出され、審議・承認された。総会終了後に懇親会を開催し、会員の親睦を図るとともに情報交換を行った。

#### ※2023年度定時総会

月 日：2023年5月25日(木)  
会 場：鉄鋼会館 701号室(東京都中央区)  
出席者：102名(委任状による出席も含む)

### 2) 理事会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、5月、9月、11月、3月に計4回理事会を開催し、本年度事業の進捗状況の確認、各議案の審議・承認、役員の実務執行状況等の報告を行い、本会事業の円滑な推進に努めた。

#### ※第362回理事会

月 日：2023年5月25日(木)  
会 場：鉄鋼会館 704号室(東京都中央区)  
内 容：代表理事の選定／新規入会の承認／2023年度定時総会上程議案の確認  
／2023年度事業計画案・収支予算案の承認／APAC設立計画案／日本包装技術協会との展示会協力(素案)について報告事項／経済産業省ご挨拶及び施策説明

#### ※第363回理事会

月 日：2023年9月4日(月)  
会 場：包装機械会館 会議室(東京都中央区)／オンライン  
内 容：APAC設立計画案について／日本包装技術協会との展示会協力について  
／報告事項／経済産業省ご挨拶及び施策説明

#### ※第364回理事会

月 日：2023年11月29日(水)

会 場：名古屋東急ホテル 4階 調（しらべ）の間

内 容：新規入会に関する件／役員等賠償責任保険契約に関する件／報告事項／来年度の事業計画策定について

#### ※第365回理事会

月 日：2024年3月13日（水）

会 場：包装機械会館 会議室（東京都中央区）

内 容：次期役員候補者に関する件／新規入会の承認／2023年度事業報告書（案）／2023年度決算報告書（案）／2024年度事業計画（案）／2024年度収支予算（案）／役員各委員会体制に関する件／今後のジャパンパック体制に関する件／職員の管理職手当改正に関する件／報告事項

### 3. 委員会の開催に関する事業

事業計画に基づき、JAPAN PACK 実行委員会、包装学校企画運営委員会、広報推進委員会、ISO/TC313国内審議委員会、技術委員会、IOTWGを逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努めた。

#### 1) JAPAN PACK 2023 実行委員会

JAPAN PACK 2023 実行委員会（委員長：古川 雅章 氏 株式会社古川製作所 社長）は、国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機械、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化および国民生活向上への寄与、貿易の振興、ひいては包装機械業界ならびに関係業界の発展を目的として2023年10月に開催された「JAPAN PACK 2023 日本包装産業展」（以下、本展）の準備、運営等のため各種委員会活動を推進した。

34回目を迎えた本展は、2023年10月3日（火）から同月6日（金）までの4日間、東京ビッグサイト東展示棟2～6ホールで実施。東展示棟の会場使用は2017年開催展以来3回展ぶりとなった。『未来への包程式—当たり前のその先へ』のキャッチコピーに基づいて、生産ラインに係る様々な新機種・新提案を一堂に集結。生産現場の自動化・効率化、持続可能な社会への対応、安全安心の実現、市場の拡大といった種々の喫緊課題に対する解決策を『包程式』として展示公開することにより、本展を通じてステークホルダーの付加価値創出やビジネス拡大等に寄与した。

総展示規模は出展者数420社・団体（うち海外出展者数51社・団体）、小間数1,873小間。出展分野別では「包装機械」をコアとして「包装資材・容器」や「包装関連機器」「機械部品・要素技術」が多数展示された結果となり本展の特色であった。なかでも昨今の持続可能な社会の実現へ向けた環境関連課題に対するソリューション提案を中心に前回展に比べて「包装資材・容器」の伸長が顕著。新規出展者数も145社と全体の3割を上回り、これには「スタートアップ&アカデミックエリア」「MOBAC SHOWパビリオン」「CLOMAパビリオン」等の特別企画の新設・拡充や、海外代理店の採用による新規海外出展者の増加が主な要因となった。

来場者数は会期4日間の合計で34,323名（うち海外来場者数1,465名）となり、コロナ禍（新型コロナウイルス感染症拡大）以前の2019年開催展の数字を上回る回復を見せた。業種別では、ユーザー業界のボリュームゾーンである食品業界をはじめ、医薬・化粧品・日用品業界、商社や小売・流通関係者、さらには販売提携等を目的とした

サプライヤー関係者の来場が特徴的。海外来場者数も引き続き増加傾向で推移した。

「自動化」および「環境」の両キーワードを軸に多彩な併催行事・企画も実施。日本製パン製菓機械工業会とのタイアップにより新設された「MOBAC SHOWパビリオン」では、製パン製菓業界へ向けた効率化・省力化、省エネ・省資源等の最新技術が披露され、同じく新企画「スタートアップ&アカデミックエリア」では、スタートアップ企業や教育・研究機関から提案された先進的かつ革新的な製品や研究技術が来場者の注目を集めた。2019年の初参加以来拡大を続ける「CLOMAパビリオン」では、容器包装における環境配慮設計、プラスチックの適正使用、新素材・代替素材、廃棄ロス削減、3R+に関するトレンドやイノベーションを展示。持続可能な社会の実現へ向けて包装にまつわるステークホルダーが一丸となり廃棄・二酸化炭素・ストレスのゼロについて考える「包装ライフサイクルコーナー」では、2回目を迎えた今回から包装機械メーカーの参画により訴求力のスケールアップを実現した。

とりわけセミナーステージ（自動化ステージ、環境ステージ、プレゼン会場）での60セッションに上る特別講演や専門セミナー、出展者プレゼンテーションにおいては関連業界のトレンド、トピックスが多種多様に散りばめられ、合計4,442名の聴講者を動員し、併催企画のハイライトとして好評を博した。加えて、展示製品のダイジェストをパネルと動画で簡潔明瞭に発信し、来場者と出展ブースを繋げる羅針盤を担いビジネスの加速を企図した新企画「自動化・環境ソリューションコーナー」は、有意義な特別展示として来場者アンケートでの最多回答とともに出展者からも反響を獲得し、今後の改善や拡充へ向けて議論の余地を残した。

なお、当会、韓国包装機械工業会、台湾包装協会の包装関連3団体は、アジア・アセアン地域の包装産業および関連産業のさらなる発展に資するべく、関係地域の主要な業界団体・機関における人材、情報等の相互交流を推進することを目的としてAPAC (Asia Packaging Associations' Club) の設立に合意し、会期初日の10月3日(火)に東京ビッグサイト会議棟において創立総会が挙行された。

次回(JAPAN PACK 2025 日本包装産業展)は、2025年10月7日(火)から同月10日(金)までの4日間、東京ビッグサイト東展示棟で開催予定。

※第9回正副実行委員長会議

月 日：2023年4月11日(火)

会 場：包装機械会館(東京都中央区)

内 容：小間割原案の承認、併催行事、各種進捗報告・計画等の討議

※第3回実行委員会

月 日：2023年4月11日(火)

会 場：包装機械会館(東京都中央区)

内 容：小間割案の承認、併催行事、各種進捗報告・計画等の討議

※出展者説明会(東京会場)

月 日：2023年5月16日(火)

会 場：秋葉原UDXカンファレンス(東京都千代田区)

内 容：開催要旨および出展マニュアルの説明等

※出展者説明会(大阪会場)

月 日：2023年5月17日(水)  
会 場：梅田スカイビル会議室（大阪府大阪市北区）  
内 容：開催要旨および出展マニュアルの説明等

※第10回正副実行委員長会議

月 日：2023年7月19日（水）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）  
内 容：APAC設立計画案、来場誘致アプローチ、各種進捗報告・計画等の討議

※第4回実行委員会

月 日：2023年7月19日（水）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）  
内 容：APAC設立計画案、来場誘致アプローチ、各種進捗報告・計画等の討議

※第11回正副実行委員長会議

月 日：2023年9月11日（月）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）  
内 容：会期・搬入出期間における役割分担、各種進捗報告・計画等の討議

※第5回実行委員会

月 日：2023年9月11日（月）  
会 場：包装機械会館（東京都中央区）  
内 容：会期・搬入出期間における役割分担、各種進捗報告・計画等の討議

※JAPAN PACK 2023 日本包装産業展

月 日：2023年10月 3日（火）～ 6日（金）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

内 容：開催概要として以下の通り

- 1) 総展示規模：420社／1, 873小間
- 2) 総来場者数：34, 323名
- 3) 併催行事：下記の通り

【10月 3日（火）】

- ・開会式
- ・各種講演会・専門セミナー ※38講演／4日間開催
- ・APAC創立総会
- ・APAC創立発表会
- ・出展者プレゼンテーション ※22講演／4日間開催
- ・オープニングレセプション

【10月 4日（水）】

- ・学生向けイベント「包装業界ガイダンス・見学ツアー」※3日間開催
- ・JAPAN PACK AWARDS 2023表彰式

【10月 5日（木）】

- ・特別企画「環境に配慮した包装技術と未来」  
（セミナー・会場巡回ツアー企画）
- ・包装学校50周年記念行事

(功労賞授与、基調講演、パネルディスカッション)

・包装学校50周年祝賀会

【10月 6日(金)】

・会場巡回ツアー「センス・オブ・ワンダーツアー」

4) 特別展示 : 下記の通り

・MOBAC SHOWパビリオン ※10社・団体出展

・CLOMAパビリオン ※20社・団体出展

・自動化・環境ソリューションコーナー ※20社出展

・スタートアップ&アカデミックエリア ※14社・機関出展

・包装ライフサイクルコーナー ※10社・団体出展

・自動化/環境ステージ

(特別講演、専門セミナー会場)

・プレゼン会場A/B

(出展者プレゼンテーション会場)

・JAPAN PACK AWARDS 2023受賞製品パネル展示コーナー

・包装相談コーナー

・就活サポートコーナー

・学生支援コンシェルジュ

・包装学校ブース

※第12回正副実行委員長会議

月 日 : 2023年11月1日(水)

会 場 : 包装機械会館(東京都中央区)

内 容 : JAPAN PACK 2023の総括について討議

※報告会

月 日 : 2023年11月15日(水)

会 場 : 鉄鋼会館(東京都中央区)

内 容 : 開催概要、各種活動実績、成果・課題・改善案等の討議および総括

## 2) 包装学校企画運営委員会

包装学校企画運営委員会(委員長:一岡 幹朗氏 大森機械工業株式会社 取締役)は、本年6月から開講の第50期包装学校ならびに来期包装学校の開講準備にあたり、下記の委員会活動を推進した。

※第115回包装学校企画運営委員会

月 日 : 2023年5月29日(月)

場 所 : 包装機械会館2F会議室

内 容 : 第50期開講式・オリエンテーションについて

※第116回包装学校企画運営委員会

月 日 : 2023年9月12日(火)

場 所 : 包装機械会館2F会議室

内 容 : 第50期包装学校記念企画について

※第117回包装学校企画運営委員会

月 日：2023年12月7日(木)

場 所：包装機械会館2F会議室

内 容：第51期包装学校カリキュラムの決定

※第118回包装学校企画運営委員会

月 日：2024年1月31日(水)

場 所：包装機械会館2F会議室

内 容：第50期ディベートディスカッション・修了式について

### 3) 広報推進委員会

広報推進委員会（委員長：下島 敏章 氏 ストラパック株式会社 社長）は、関連業界等と連携強化を図りながら以下の委員会活動を推進し、国内外に向けてジャパンプランドを広くアピールすることにより、当工業会ならびに会員企業ひいては関連業界各位の価値向上に繋がるための活動に努めた。

※interpack2023視察団（interpack2023視察ツアー）

月 日：2023年 5月 6日（土）～12日（金）

会 場：デュッセルドルフ見本市会場（ドイツ・デュッセルドルフ）

内 容：interpack2023および現地市況視察

参加者：46名

※interpack2023視察団（ヨーロッパ製薬企業視察ツアー）

月 日：2023年 5月 6日（土）～ 5月14日（日）

会 場：デュッセルドルフ見本市会場（ドイツ・デュッセルドルフ）、他

内 容：interpack2023、欧州製薬企業（NIBRT、West Pharmaceutical Services、Wasdell Dundalk）および現地市況視察

参加者：9名

※第26回広報推進委員会

月 日：2023年 5月30日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：2023年度事業計画案等について討議

※ProPak Asia 2023日本パビリオン

月 日：2023年 6月14日（水）～17日（土）4日間

会 場：BITEC（タイ・バンコク）

出展者：株式会社旭金属、株式会社エー・アンド・デイ

ENEOSマテリアルトレーディング株式会社、大森機械工業株式会社

サイエナジー株式会社、澁谷工業株式会社

城南自動機株式会社／株式会社横浜自働機、株式会社ソディック

株式会社第一包装機製作所、株式会社東京自働機械製作所

トキワ工業株式会社、株式会社トパック、ニッカ電測株式会社



株式会社ニッサンキコー、日本ポリスター株式会社  
株式会社古川製作所、株式会社三橋製作所、株式会社ミューチュアル  
株式会社メイワ、大和製衡株式会社、レオン自動機株式会社  
一般社団法人日本包装機械工業会  
(以上、23社・団体、576㎡/約64小間)

※日包工セミナー「カーボンニュートラルの実現にむけて」

月 日：2023年 6月20日 (火)

会 場：オンライン

講 師：柴田 あゆみ 氏

大日本印刷株式会社 Lifeデザイン事業部

I PCビジネスデザイン本部 環境ビジネス推進部 第1グループリーダー

参加者：59名

※日包工セミナー「interpack2023関連報告」

月 日：2023年 8月 1日 (火)

会 場：オンライン

講 師：松田 修成 氏

株式会社東洋紡パッケージング・プラン・サービス シニアアドバイザー

参加者：70名

※第27回広報推進委員会

月 日：2023年 8月 1日 (火)

会 場：包装機械会館 (東京都中央区)

内 容：ProPak Asia 2023日本パビリオン実施報告、  
「P&M通信」状況報告、JAPAN PACK 2023連携企画案、  
APAC計画案等について討議

※JAPAN PACK 2023連携企画「業界トレンド発信」

月 日：2023年10月 4日 (水)

会 場：東京ビッグサイト (東京都江東区)

主 題：①食品工場に向けたDXソリューション

②環境にやさしいバイオマスプラスチックの医薬品用PTP包装への  
適用拡大に向けて

登壇者：①谷津 弦也 氏

アンリツ株式会社 環境計測カンパニー 新事業推進室

DXソリューション部

今井 利幸 氏

コニカミノルタ株式会社 FORXAI 事業統括部 事業推進部

マネジャー

②細越 淳来 氏

アステラス製薬株式会社 CMC開発部 製剤研究所

包装・デバイス研究室

参加者：①74名

## ② 89名

### ※ JAPAN PACK 2023 連携企画「包装業界ガイダンス・見学ツアー」

月 日：2023年10月 4日（水）～ 6日（金）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

参加者：20名／3日間

### ※ JAPAN PACK 2023 連携企画 就活サポートコーナー

月 日：2023年10月 3日（火）～ 6日（金）

会 場：東京ビッグサイト（東京都江東区）

### ※ 第28回広報推進委員会

月 日：2024年 2月27日（火）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：JAPAN PACK 2023 連携企画実施報告、「P&M通信」状況報告、2024年度事業計画案等について討議

### ※ ウェブ版機関誌「P&M通信」発行（原則月2回）

体 裁：A4版／PDF形式

配 信：登録者へEメール配信

内 容：当会ウェブ機関誌「P&M通信」を毎月2回発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報を推進

## 4) ISO/TC313 国内審議委員会

ISO/TC313 国内審議委員会（委員長：福田 隆文氏 長岡技術科学大学教授（システム安全専攻））は、昨年度に引き続き、イタリアから提案された包装機械におけるEN415規格のISO化（ISO/TC313）に伴い、国内審議委員会活動及び国際会議への参加を実施した。

### ※ ISO 国内審議委員会 幹事会

月 日：2023年6月22日（木）

会 場：包装機械会館 1F 会議室

内 容：三好委員新規参加、今後計画

### ※ ISO/TC313/WG1 国際会議

月 日：2023年7月5日（水）、11日（火）、12日（水）

会 場：包装機械会館 1F 会議室及びオンライン

内 容：N 文書コメントに対する各国の審議・承認

### ※ ISO 国内審議委員会

月 日：2023年9月15日（金）

会 場：包装機械会館 2F 会議室及びオンライン

内 容：ISO/TC313/WG1 及び次回全体会議の報告及び三好委員紹介

※ISO/TC313国際会議（全体会議）

月 日：2023年11月8日（水）

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン

内 容：ISO/TC313コンセンサスに対する各国の合意

※ISO/TC313/WG1国際会議

月 日：2024年2月19日（月）～21日（水）

会 場：包装機械会館 1F会議室及びオンライン会議

内 容：N文書コメントに対する各国の審議・承認

## 5) 技術委員会

技術委員会（委員長：伊早坂 嗣氏 株式会社川島製作所社長）は、技術事業のあり方を検討し、技術センターの事業方針を決定した上で、包装機械を取巻く環境変化への対応や産学・産産連携、工場見学等を計画し実施した。

※株式会社デンソーウェーブ 見学会及び意見交換会

月 日：2023年7月13日（木）

会 場：㈱デンソーウェーブ 愛知県知多郡

内 容：工場見学会及び意見交換会

- ① 技術委員会、IoT WG 合計13名参加
- ② 工場のご紹介
- ③ ロボットを使った組立～在庫・発送見学
- ④ 意見交換会

※2023年度第1回技術委員会

月 日：2023年7月13日（木）

会 場：タイムオフィス名古屋駅前

内 容：①デンソーウェーブ工場訪問意見交換について

- ②包材系テーマ検討について
- ③IoT WG 報告
- ④ISO審議状況報告
- ⑤JapanPackAwards2023について
- ⑥セミナー案内

※株式会社資生堂 福岡久留米工場 見学会及び意見交換会

月 日：2023年10月17日（火）

会 場：㈱資生堂 福岡県久留米市

内 容：工場見学及び意見交換

- ① 技術委員会、IoT WG 静甲、日本機械商事合計14名参加
- ② 工場ご紹介
- ③ 製造工程IoT見学
- ④ 充填・組立・包装工程見学
- ⑤ 意見交換

※丸東産業株式会社 福岡第2工場 見学会及び意見交換会

月 日：2023年10月17日(火)

会 場：丸東産業(株) 福岡第2工場

内 容：工場見学及び意見交換

- ① 技術委員会、IoT WG 合計12名参加
- ② 工場ご紹介
- ③ 印刷工程および梱包発送見学
- ④ 意見交換会

※(株)安川電機 福岡工場見学会及び意見交換会

月 日：2023年10月18日(水)

会 場：(株)安川電機 本社(福岡県北九州市)

内 容：ロボット組立工場・みらい館見学会及び意見交換会

- ① 技術委員会、IoT WG 合計11名参加
- ② 工場のご紹介
- ③ ロボット組立工場、みらい館見学
- ④ 意見交換会

※環境関連セミナー開催

月 日：2024年2月6日(火)

会 場：包装機械会館2F会議室

講 師：株式会社イナガキ 伊藤様

内 容：衛生設計時代に必要な法律・規格への提案力

- ① FSSC22000
- ② ポジティブリスト
- ③ HACCP
- ④ モノ売り、コト売り

※2023年度第2回技術委員会

月 日：2024年2月6日(火)

会 場：包装機械会館 2F会議室

内 容：①IoT WG 指針報告

- ② 来年度事業計画案
- ③ Japan Pack 2025
- ④ PFAS規制

## 6) IoT WG

包装機械類標準仕様の検討となる IoT 導入・活用の「指針」をまとめ、周知することにより包装機械業会及びユーザー業界双方の生産性向上に寄与する。その具体的な内容を検討する専門家会議として、本 WG (リーダー：福井 健二氏 大森機械工業株式会社 上級執行役員) を発足し、継続活動した。

※第9回 IoT WG ミーティング

月 日：2023年4月27日(木)

会 場：包装機械会館 2F会議室  
内 容：味の素様訪問準備

※味の素食品株式会社様 意見交換会

月 日：2023年4月27日(木)  
会 場：味の素食品(株)川崎工場 (川崎市)  
内 容：意見交換

※第10回 IoT WG ミーティング

月 日：2023年6月6日(火)  
会 場：包装機械会館 2F会議室  
内 容：カテゴリ見直し

※株式会社デンソーウェーブ 見学会及び意見交換会

月 日：2023年7月13日(木)  
会 場：(株)デンソーウェーブ 愛知県知多郡  
内 容：工場見学会及び意見交換会  
⑤ 技術委員会、IoT WG 合計13名参加  
⑥ 工場のご紹介  
⑦ ロボットを使った組立～在庫・発送見学  
⑧ 意見交換会

※第11回 IoT WG ミーティング

月 日：2023年7月13日(木)  
会 場：タイムオフィス名古屋駅前  
内 容：IoT WG 報告

※第12回 IoT WG ミーティング

月 日：2023年8月2日(水)  
会 場：包装機械会館 2F会議室  
内 容：パネルディスカッション討議

※JapanPack 2023 パネルディスカッション

月 日：2023年10月5日(木)  
会 場：自動化ステージ  
内 容：包装機械のIoTと今後の展望

※第13回 IoT WG ミーティング

月 日：2023年11月16日(木)  
会 場：包装機械会館 2F会議室  
内 容：食品メーカー意見交換会検討

※「包装ラインの生産性評価と包装機械のDX化の取組」意見交換会

月 日：2023年12月11日(月)  
会 場：包装機械会館 2F会議室  
内 容：IoT WGにおける包装機械の標準化検討状況説明  
JP2023のIoTパネルディスカッションのアンケート結果報告・説明

## 参加各社における現状、課題等の意見交換

### ※第14回 IoT WG ミーティング

月 日：2023年12月20日(水)

会 場：包装機械会館 2F会議室

内 容：早稲田大学楠教授 意見交換

### ※第15回 IoT WG ミーティング

月 日：2024年1月18日(木)

会 場：包装機械会館 2F会議室

内 容：指針内容推敲

### ※株式会社ニッスイ様 意見交換会

月 日：2024年2月16日(金)

会 場：(株)ニッスイ本社（東京都港区）

内 容：意見交換

### ※第16回 IoT WG ミーティング

月 日：2024年2月16日(金)

会 場：包装機械会館 2F会議室

内 容：指針案推敲、フォーマットチェック

### ※ハウス食品株式会社様 意見交換会

月 日：2024年3月21日(木)

会 場：(株)ニッスイ本社（東京都港区）

内 容：意見交換

### ※第17回 IoT WG ミーティング

月 日：2024年3月21日(木)

会 場：包装機械会館 2F会議室

内 容：指針説明会検討

## 4. 会員等諸会合の開催

2023年度事業計画に基づき、新年賀詞交歓会、歳末特別講演会、支部会を開催した。

### 1) 新年賀詞交歓会

関係官公庁、当会会員、関連団体、金融関係等の方々をお招きして、当会と本年が創立50周年となる株式会社日本包装リースと合同で、2024年新年賀詞交歓会・創立50周年記念祝賀会を開催した。

### ※2024年新年賀詞交歓会

月 日：2024年1月10日(水)

会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

出席者：278名

## 2) 歳末特別講演会

事業計画に基づき、2023年度歳末特別講演会を開催した。

### ※2023年度歳末特別講演会

月 日：2023年11月29日（水）

会 場：名古屋東急ホテル（愛知県名古屋市）

テーマ：内外経済動向と深刻化する人手不足

講 師：株式会社日本政策投資銀行

産業調査部 経済調査室長 蜂谷 義昭氏

テーマ：内外経済動向と深刻化する人手不足

講 師：株式会社東洋紡パッケージプランサービス

シニアアドバイザー 松田 修成氏

出席者：53名

## 3) 支部会の開催

事業計画に基づき、当会事業の周知と会員間の情報交換・親睦等を目的として東日本支部、西日本支部を開催した。2024年度事業計画案の報告ならびに講師をお招きして講演会を開催した。

### ※東日本支部会

月 日：2024年3月5日（火）

会 場：包装機械会館 2階会議室

内 容：事業報告及び事業計画案等について／経済産業省の施策概要について

講演会：包装なしでは語れない冷凍食品

講 師：一般社団法人日本冷凍食品協会 広報部長 消費生活コンサルタント

三浦 佳子氏

出席者：27名

### ※西日本支部会

月 日：2024年3月6日（水）

会 場：神戸国際会館セミナーハウス（兵庫県神戸市）

内 容：事業報告及び事業計画案等について／経済産業省の施策概要について

講演会：最新の海外包装産業の動向について

講 師：株式会社東洋紡PPS シニアアドバイザー 松田 修成氏

出席者：31名

## 5. 調査、各種情報事業等に関する事業

包装機械・関連機器に関する国内外の市場調査をはじめ、技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、P&M通信・ウェブサイト・メール等を通じ、広く一般に公開し、わが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進した。

## 1) 包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカー約420社に対して、2022年度の生産高と輸出入高ならびに2023年度の生産計画に係るアンケート調査を実施した。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開した。

## 2) 技術情報の収集・提供等

### (1) 技術センター事業

技術センターの事業として、包装機械ならびに関連機器に関する国内外のユーザー等からの各種技術相談の受付・回答、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進に努めた。

また、機械安全・CEマーキング等の相談に対応した。安全・衛生指導事業は今後も継続する。

### (2) 警告マークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」(日本語版)を広く包装機械・関連機器メーカーに頒布を継続した。

## 3) 各種情報の発信等

### (1) 機関媒体「P & M通信」の発信に関する事業

当会ウェブ機関誌「P & M通信」を毎月2回発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計(経済産業省)、貿易統計(財務省)等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報に努めた。

### (2) 電子媒体の活用に関する事業

日包工・ジャパンパックのウェブサイトでの情報発信をはじめ、メールを通じ、関連省庁からの周知依頼、当会ならびに関連団体の行事等の情報の発信に努めた。また「インターネット製品PRコーナー(日本語・英語・中国語)」の掲載を通じ、会員企業製品の需要喚起に努めた。

## 6. 人材育成、セミナー・講習会に関する事業

### 1) 包装学校事業

わが国包装機械メーカーの若手技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象とした第50期包装学校を開講した。本年度は、2023年6月の開講式・オリエンテーションから2024年3月の修了式まで、包装機械設計・パッケージングエンジニア・デジタル制御技術の各講座を通じて、包装機械業界およびユーザー業界の人材育成・高度化に努めた。

昭和49年度の第1期から本年度の第50期までの修了者は5,309名となり、包装機械業界はもとよりユーザー業界からは、包装機械に関する唯一・高度の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

### ※第50期包装学校の課程別修了生(計129名)

1) 包装機械設計技術専門課程	65名
2) パッケージングエンジニア専門課程	51名
3) デジタル制御技術専門課程	13名



・ モーション制御講座

【第1期から第50期までの受講生数、修了者数】

受講者数・修了者数 専門課程名	受講者数 (人)		修了者数 (人)	
	50期	1~50期計	50期	1~50期計
1. 包装機械設計技術課程	65	3,065	65	2,953
2. パッケージングエンジニア課程	53	2,224	51	2,124
3. デジタル制御技術課程	13	322	13	232
合計	131	5,609	129	5,309

2) 青年部会

日本包装機械工業会の次代を担う経営幹部育成を目的として、青年部会（部会長：戸谷 隆一 氏 トタニ技研工業株式会社 社長）は、以下の事業実施等を通じて会員相互の研鑽に努めた。

※2023年度定時総会

月 日：2023年 4月 5日（水）

会 場：山形国際ホテル（山形県山形市）

内 容：2022年度事業報告書案、2023年度役員体制案、2023年度事業計画書案について審議

出席者：42名（会場：21名、委任状：21名）

※国内工場見学会

月 日：2023年 4月 5日（水）

会 場：THK株式会社山形工場（山形県東根市）

参加者：34名

※第84回幹事会

月 日：2023年 4月26日（水）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）／オンライン

内 容：2023年度事業計画書案等について討議

※第85回幹事会

月 日：2023年 7月24日（月）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：夏季セミナー、ベトナム視察事業計画、APAC計画等について討議

※第86回幹事会

月 日：2023年 9月13日（水）

会 場：ホテルマロウド軽井沢（長野県北佐久郡）

内 容：APAC計画、夏季セミナー等について討議

※夏季セミナー

月 日：2023年 9月13日（水）～14日（木）

会 場：ホテルマロウド軽井沢（長野県北佐久郡）

講 師：伊早坂 嗣 氏

株式会社川島製作所 代表取締役社長

主 題：可能性は無限大

参加者：36名

※ベトナム包装市場視察ツアー

月 日：2023年11月 6日（月）～ 9日（木）

会 場：SECC（ベトナム・ホーチミン市）、他

内 容：ProPak Vietnam 2023および現地工場（エースコック  
ベトナム、富士インパルスベトナム）等視察

参加者：18名

※2024年新年情報交換会

月 日：2024年 1月 9日（火）

会 場：東天紅上野本店（東京都台東区）

参加者：52名

※第87回幹事会

月 日：2024年 2月 2日（金）

会 場：包装機械会館（東京都中央区）

内 容：2023年度事業報告書案、2024年度役員体制案、2024年度事業  
計画書案について審議

※会員名簿PDF版の運用

### 3) 各種セミナー・講習会

#### (1) 厚労省通達「設計技術者に対する機械安全教育」講習会の開催

日本包装機械工業会は、(一社)安全技術普及会、職業能力開発総合大学校と共催で講習会をオンラインにて開催した。

職業能力開発総合大学校（東京都小平市）

① 機械の安全化と国際安全規格編 （2日）

2023年12月7日、8日

② 機械安全におけるリスク低減編 （2日）

2024年1月11日、12日

③ リスクアセスメントの実践と妥当性確認編 （2日）

2024年2月 8日、 9日

④ 電気制御システム編 （2日）

2024年3月 7日、 8日

#### (2) IEC 60204-1/JIS B 9960-1対応

「実習で学ぶ制御盤の安全検証試験」講習会の開催

2023年度事業で開催するため、高度ポリテクセンターと協議し、下記日程で開催した。

関東会場	高度ポリテクセンター	2023年11月15日、16日
関西会場	ポリテクセンター関西	2024年2月14日、15日
新潟会場	ポリテクセンター新潟	2024年2月20日、21日

## 7. 国の施策に関する事業

### 1) 中小企業等経営強化法に係る証明書発行に関する事業

当会は2016年7月にスタートした中小企業等経営強化法の証明書発行団体として、2016年8月から証明書の発行を開始し、累計の発行数は10,293通で、その内訳は正会員6,975通、賛助会員975通、非会員2,343通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。\*2月時点

本年度の証明書発行(777通)の内訳は次の通りである。

正会員 504通(証明書発行手数料は1通に付 2,000円)

賛助会員 87通( 同上 )

非会員 186通(証明書発行手数料は1通に付 10,000円)

## 8. その他関連事業

### 1) 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しをはじめ包装機械会館の運営、保守保全に努めた。

### 2) 会員企業の販売促進、経営安定化に関する事業

株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進、事業承継サポートプログラムの利用促進、ならびに本年度より新たに会員向けサービスが拡充された、出資業務・アドバイザー業務などの利用促進に努めた。また株式会社包装システムと協調し、PL保険・包装機械総合保険への団体加入の促進に努めた。

### 3) 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械企業年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努めた。

### 4) 関連産業との連携

日本製パン製菓機械工業会、日本粉体工業技術協会、日本化粧品工業連合会、日本冷凍食品協会をはじめ包装関連産業、食品関連産業、製パン・製菓産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業などの関連機関との産業連携を推進し、包装機械業界の発展に努めた。

## 9. 会員の現況

2024年3月31日現在の会員数は正会員143社、賛助会員118社、合計261社となっている。2023年度の入会、退会の状況は次の通りである。

### 1) 入会

<正会員 1社>

日本山村硝子株式会社

<賛助会員 5社>

株式会社ミヤコシ、株式会社テクロンジャパン、アクセレントジャパン株式会社、株式会社コンゴウ、コウエイエレクトリック株式会社

## 2) 退 会

<正会員>

なし

<賛助会員 5社>

オリエンタルモーター株式会社、グラコ株式会社、ジーディー自動機械株式会社、  
三橋商事株式会社、キャディ株式会社

## 3) 会員登録の変更（かっこ内は旧登録名）

オムロン キリンテクノシステム株式会社（キリンテクノシステム株式会社）、  
株式会社大生（株式会社大生機械）、TOPPAN 株式会社（凸版印刷株式会社）